

健康交差点

企画：日本医師会
No. 14



薬にないせん処方

小川 宏 (アナウンサー)

この十年あまりの間に、私は四回の入院を余儀なくさせられた。最もつらかったのはうつ病だった。三カ月の入院中、親友から病院あてに手紙をもらった。「自分も重いうつ病になったが、これは辛かった。しかし、あと一息で、辛がプラス一で幸になる」とあった。これを見た瞬間、「処方せん」にない薬と思った。

健康を害し続けたためか、女房は、自らのそれにまで目が届かず、八年前、末期の子宮がんが発見。執刀医は手術前、私に、「不良がヤクザにならぬよう更生させます」とおっしゃった。「大手術になります」といわれたら、家族は落ち着きを失ってしまう。名言である。

どんな名医でも、この手術は排尿をつかさどる神経に触れがちなので、自力で尿ができなくなるという。そんな時、看護師さんが代わる代わる現れて、導尿の処置をしてくれた。

病気ばかり見て病人を見ない医者もいることを考えると、患者への医療関係者の言動は、とても大切だと痛感させられた。



介護保険は高齢者だけのものではありません



「介護」と聞くと「寝たきり」というイメージを抱きがちですが、介護保

険制度は寝たきりの高齢者だけを対象にした仕組みではありません。

介護保険で受けられるサービスの量は、介護に必要な手間の量（要介護度）で決まります。要介護度は、軽度の要支援から要介護度1～5まで6区分あります。

ご不明な点は、お気軽におたずねください。

日本医師会「健康交差点」

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
Fax: 03-3946-6295 E-Mail: kousaten@po.med.or.jp

日本医師会ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.med.or.jp/kousaten/>

健康交差点では、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。

待合室に掲示し、患者さんにお見せください。